

出雲市イクボス宣言

～仕事と私生活が両立できる職場環境をめざして～

8月24日、市長が市の関係団体の代表とともに「イクボス宣言」を行いました。



イクボス宣言

私は、職員の仕事と私生活の両立を支援しながら、自らも率先してワーク・ライフ・バランスを推進する「イクボス」となることで、「出雲力」を高め、誰もが活躍できるまちを目指すことを宣言します。

1. 私は、働き方改革に積極的に取り組み、職員の誰もが仕事と生活を充実させながら、いきいきと活躍できる職場を実現します。
2. 私は、自らの仕事と私生活の充実に取り組みます。
3. 職員の意見を聞きながら、より働きやすい職場環境になるよう改善します。
4. 単純作業の自動化や業務の委託等により、業務の効率化を積極的に行います。
5. 休暇制度について理解を深め、就業規則の見直しを行います。
6. 家族や市民を幸せにするよう、いきいきとした働きやすい職場づくりに努めます。

令和4年8月24日

出雲市長 **飯塚 俊之**



イクボスとは・・・

職場でともに働く部下やスタッフのワーク・ライフ・バランス(仕事と私生活の両立)を考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績や結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司(経営者・管理職)のことです。



○出雲市は、各地域の商工会議所、商工会、J A、森林組合、J Fの代表者や小・中学校校長会の代表者とともに宣言を実施しました。



○宣言にあたり、「イクボス」を提唱するNPO 法人ファザーリング・ジャパン代表理事の安藤哲也氏、出雲市議会の萬代議長及び大場総務委員長に立ち会っていただきました。

市長がイクボスとなり、関係団体とともに宣言することで、今後、市内の事業者や関係機関等へのワーク・ライフ・バランスの推進を図っていきます。

イクボス宣言をするメリット

たとえば!

○人材確保に有利

イクボス宣言をし、実行することで、働きやすい職場環境であることを広くPRすることができ、入社希望者の増加が見込まれます。

○業務の効率化

社員の定時退社やノー残業をめざしていくなかで、これまでの体制や業務内容を見直すきっかけとなり、業務の効率化が図られます。

○仕事に通じる考え方や能力の向上

育児や家事等をしていくなかで、仕事に通じる考え方や時間管理能力等の習得が見込まれ、社員のスキルアップにつながります。



おたすね / 市民活動支援課 ☎ 21-6952

となりのミコトツキー

第58回

出雲市がトキの放鳥候補地に選定されました!

出雲市などの飼育地で保護繁殖が進められているトキですが、野生下ではいまだに新潟県の佐渡市にしか定着していません。

環境省は、かつてのように日本中でトキが生息できるようになることをめざし、本州でトキを放鳥する候補地となる「トキの野生復帰を目指す里地」を全国の自治体から公募していましたが、このたび、8月5日に出雲市が正式に「トキの放鳥候補地」に選定されました。

トキを放鳥するためには、トキが巣を作ることができる森林や、年間を通してエサをとることができる環境の整備など、今後、さまざまな取組を進めていく必要があります。

まだまだ課題は多いですが、トキの放鳥が実現すれば、出雲市の豊かな自然を全国にPRできる貴重なチャンスとなり、また、地域の新たな誇りにもなります。

環境省や、出雲市とともに選定された石川県の能登地域(1県9市町)と連携し、トキの野生定着をめざしながら、トキをシンボルとした環境にやさしいまちづくりの取組を引き続き推進していきます。



出雲の空を
トキが舞う未来は、
もうすぐそこ!



おたずね/農業振興課 朱鷺のまち推進室 ☎20-1350



秋の紅葉を楽しむ トロッコ列車「奥出雲おろち号」



ガラスのない窓から、心地よい自然の風を浴びながら沿線の絶景を眺めることができます。車内で食べられる弁当、スイーツは絶品で、旅のお供に最適。

この秋の列車旅は、「奥出雲おろち号」に乗ってお楽しみください。



※ 奥出雲おろち号運行情報

JR木次線の木次駅～備後落合駅を運行。11月23日までの毎週金・土・日曜日と祝日(10/14～11/23は毎日運行)にJR木次駅から運行します。日曜日と祝日は、出雲市駅(発8:45)から出発します。

運行カレンダー・時刻表は、「出雲の国・斐伊川サミット」ホームページをご覧ください。ホームページは右記の二次元コードの読み取り、または「おろち号」で検索してください。



おろち号乗車に関する問い合わせ先 JRお客様センター☎0570-00-2486

※ 出雲の国・斐伊川サミット

斐伊川・神戸川流域の2市2町(出雲市、雲南市、奥出雲町、飯南町)で構成し、トロッコ列車を生かした広域観光などに取り組んでいます。

おたずね/出雲の国・斐伊川サミット事務局(政策企画課内) ☎21-6612 FAX 21-6752